

# 近畿都市学会報

第195号

2016年9月15日

近畿都市学会

## 近畿都市学会・連絡先

### ■ 近畿都市学会事務局・編集委員会窓口宛先

〒530-0001

大阪市北区梅田1-2-2-600

大阪駅前第2ビル6階

大阪市立大学大学院 創造都市研究科

小長谷一之研究室内 近畿都市学会事務局

Eメール：[info@kintoshi.org](mailto:info@kintoshi.org)

ホームページ：<http://www.kintoshi.org/>

会費納入先：ゆうちょ銀行 振替口座  
00990-7-86235 近畿都市学会

※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送金できません。

ゆうちょ銀行 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）

当座 0086235 キンキトシカ`ツカイ

（編集委員会宛も事務局で共同窓口となりました）

←連絡・入稿はすべて左記のメールでお願いします。

## 1. 2016（平成28）年度秋季大会のお知らせ（予定）

2016年度秋季大会は、大津市の御協力を得て開催いたします。

（詳細につきましては、次号（第196号）にてお知らせします）

【日時】2016年11月19日（土）

【エクスカージョン（予定）】10：00～、【発表（予定）】13：00～

【発表会場】大津市ふれあいプラザ（大津市浜大津4-1-1）

【プログラム（現在予定です。ご注意ください）】

（1）10：00～12：00 エクスカージョン《事前申込制》

（2）13：00～13：10 碓井 照子 会長挨拶

（3）13：10～14：20 一般研究報告Ⅰ

（4）14：30～15：30 特別講演 大津市市長 越 直美 氏

（5）15：40～17：00 一般研究報告Ⅱ

（5）17：30～19：00 懇親会

★例年自治体開催である秋季大会は、滋賀県大津市のご協力を得て、実施することとなりました。まちづくりについて市長にご講演いただき、エクスカージョンでは、大津市のまちづくりを見て行く予定です。

### ★【研究報告の募集】

#### ① 研究報告の申し込み

→報告題目、報告者氏名（所属と連絡先を必ず明記して下さい）、および報告する際の使用希望機器（原則としてPC用プロジェクターに限る）を明記したものを、**10月14日（金）必着で近畿都市学会事務局まで**、電子メールまたは郵便ハガキのいずれかの方法でお送り下さい。

#### ② 報告要旨の提出

→報告要旨を作成し、**10月21日（金）必着で上記の近畿都市学会編集委員会まで**、基本的に電子メール（添付ファイルによる送信が望ましい）でお送り下さい。  
なお、フォーマットはヨコ40字・タテ38行、10.5ポイント、MS明朝（英数はcentury）とし、図表を含めて、1200字以内とします。図表は、エクセルや画像の形式で、電子メール添付でお送りください。

★【一般参加申込方法】資料、懇親会等の予約の関係がございますので、参加者希望は、原則、電子メールにて事務局（[info@kintoshi.org](mailto:info@kintoshi.org)）へ（又は郵便はがきにて）

① エクスカーションの参加の有無

② 懇親会の参加の有無

をお知らせください。締切は11月10日といたします。

---

---

## II. 近畿都市学会2016（平成28）年度春季大会のご報告

---

---

近畿都市学会の2016年度春季大会は、2016年7月3日（土）に、神戸学院大学 有瀬キャンパスで開催され、近畿都市学会碓井照子会長による挨拶の後、兵庫県県土整備部住宅建築局の谷川順彦氏による講演「明舞団地再生への取組」が行われました。

ひきつづき以下の一般発表研究報告、大会参加者約60名による活発な討論がおこなわれました。一般研究報告のあと、美酒佳肴きよしにて、懇親会（参加者23名）が盛況のうちに開催されました。

[101]「奈良市旧市街地北部で2013年8月に発生した水害について」

杵渕有紀子（奈良大学・院）

[102]「奈良県南部地域の観光の現状と課題

ー地域イメージと観光価値の視点からー」

大和里美（奈良県立大学）

[103]「着地型観光の現状と課題」

小川雅司（羽衣国際大学）

[104]「固定価格買い取り制度を利用する発電主体の現状

ー太陽光（2,000kw以上）、風力、水力、地熱及びバイオマスについてー」

加勢田光博（大阪市立大学・院）

[105]「1990年以降の兵庫県の都市における農業の変化

ー都市農業振興基本法の施行をふまえてー」

石原肇（大阪産業大学）

[106]「Omotenasiの継承

ー花街・京都北上七軒の元女将の語りを中心にー」

中原逸郎（京都楓錦会）

---

---

## III. 近畿都市学会理事会等のご報告

---

---

近畿都市学会2016年度第3回理事会は、2016年7月3日（土）に、大会会場で開催され、予算・決算、事業報告・事業計画等を審議しました。

近畿都市学会2016年度第4回理事会は、2016年8月29日（月）に大阪市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第2ビル6階）で開催され、2016年度総会方針をうけたML・マニュアルの設置による委員会合議体制の整備（以下第VIII項を参照）、2016年度秋季大会（大津市）、2017年度春季大会等を議論しました。

---

---

## IV. 日本都市学会第63回大会（中部担当、岡崎市で開催予定）のお知らせと、 日本都市学会第64回大会（東北担当）のお知らせ。

---

---

日本都市学会第63回大会（2016年度）は、中部都市学会が担当し、2016年10月28日（金）・29日（土）・30日（日）に、愛知県岡崎市（予定会場は岡崎市図書館交流プラザ（りぶら））において、「地方創生と観光まちづくり」をテーマに開催する予定です。会日は28日のエクスカーション（岡崎城エリア）から始まります。日本都市学会第64回大会（2017年度）は、東北都市学会が担当します（中部と関東のローテ-

ションは入れ替わっています)。詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ <http://www.toshigaku.org/> をご覧下さい。

---

---

## V. 「新しい都市学を考える」プロジェクトのシンポジウムにつきまして

---

---

戸所前会長時より提案されておりました「新しい都市学を考える」プロジェクトにつき岡崎大会の最終日に特別セッションをもうけることになっております。このプロジェクトについては、山田前会長時代に各支部担当者を選出し、小長谷常任理事で対応しておりましたが、近畿としては、直近において「総合的都市学」を考えた会員の共同業績成果である近畿都市学会編『都市構造と都市政策』(山田浩之編集委員長)の内容をもとに「都市構造と都市政策」(松澤俊雄・小長谷一之)として連名で発表をすることとなりました。

---

---

## VI. 事務局より(会員異動)

---

---

### ■ 新入会員

普通会員：朴井晃、波多野進、佐々木一彰、杉本直子、六車和浩

学生会員：杵渕有紀子

### ■ 転出会員

北島理司(関東へ)

---

---

## VII. 2016(平成28)年度総会、および理事会等の結果

---

---

2016年総会において、2015年度決算、2016年度予算等、役員等が、以下の通りに承認され、さらにその後の各理事会の決定を経て以下のようにになりました。

### 【会則改正(2016年7月3日総会)】

■ 第1章 総則 第2条 (旧)本会の事務所は大阪府堺市中区学園町1番1号に所在する大阪府立大学経済学研究科=>(改正)本会の事務所は大阪市北区梅田1-2-2-600大阪駅前第2ビル6階大阪市立大学梅田サテライトに所在する大阪市立大学大学院創造都市研究科小長谷研究室内に置く。【改正理由】事務局を移転するため。また、事務局所在地を会則中に記載するよう金融機関から指示されているため。

■ 附則 (旧)本会則は2014年6月21日から施行する。=>(改正)本会則は2016年7月3日から施行する。

### 【事務局業務の一部外部委託について】(担当：酒井理事、中川理事)

総会での承認に基づき、事務局業務の一部外部委託を本年度中に実施いたします。すなわち会員名簿データベースを、庶務担当理事の私有パソコンでの管理から、専門業者である株式会社プロアクティブのサーバーでの管理に移行する予定です。詳細については、追ってご案内いたします。

### 【2015年度役員(原則としてアイウエオ順、任期2016年6月~2017年5月)】

■ 2016年度役員(50音順、原則として任期2016年7月~2018年6月)

(会長) 碓井照子

(理事) (※各委員会は庶務を除き委員長を設けず電子的手段等により合議制でおこなう)

(庶務) 酒井高正(会計等)、小長谷一之(委員長:Web・NL・会議等調整)、久隆浩(出版発送)、中川万喜子(会員等) <事務局長名称は廃止する>。

(編集) 松澤俊雄、和田真理子、山崎健。

(集会) 石田信博、根田克彦、井上馨、實清隆、佐々木雅幸。

(評議員) 稲垣稜、香川貴志、加藤一誠、加藤恵正、坂西明子、佐藤彰男、佐野光彦、関根秀和、醍醐昌英、高山正樹、淡野明彦、寺本光雄、徳岡一幸、長尾謙吉、藤井正、前川知史、増田昇、三輪康一、安田孝、安田丑作、山田誠、綿貫伸一郎。

(監査) 竹内正人、森信之。

(幹事) 井垣貴子、上田恵美子、牛場智、小畑和也、久保秀幸、後藤暁夫、中西久雄、村田和繁、大和里美、山下恒夫、吉川浩。

【事務局】大阪市立大学大学院創造都市研究科内小長谷研究室〔〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第2ビル 6階 大阪市立大学梅田サテライト〕

《名誉会員》(日本都市学会在籍) 小森星児、竹村保治、成田孝三、西川幸治、山田浩之。  
(近畿のみ) 天野光三、石原照敏、岡本登太郎、金坂清則、倉田和四生、近藤公夫、田口芳明、鳴海邦碩、西田彦一、野口隆、宮本憲一、三輪雅久、安井司、山本剛郎、吉井藤重郎。

【参考：日本都市学会関係（2016年度分）】

(理事) <支部会長理事> 碓井照子、<支部選出理事> 山崎健、久隆浩。

(常任理事) 小長谷一之。

(監事) 高山正樹。

■近畿都市学会2015年(平成27年)度決算 (2015年5月1日～2016年4月30日)

収入の部	予算額	決算額	備考
会費	¥1,200,000	¥1,168,000	
寄付・その他	¥200	¥28	
積立金	¥0	¥0	
過年度諸収入計上漏れ分	¥0	¥600,000	
前年度繰越金	¥769,530	¥769,530	ゆうちょ¥642,000 三井住友¥44,364 現金¥83,166
計	¥1,969,730	¥2,537,558	
支出の部	予算額	決算額	備考
日本都市学会費	¥540,000	¥520,000	2015年度分130口 在籍153×85%
大会運営費	¥150,000	¥91,312	春季大会、秋季大会
会議費	¥10,000	¥0	
印刷費	¥400,000	¥307,464	「都市研究」14号、会報190-193号
人件費	¥30,000	¥0	
通信費	¥150,000	¥137,170	ホームページ費用を含む
運搬交通費	¥40,000	¥600	駐車料
消耗費	¥40,000	¥6,782	封筒、文具
雑費	¥10,000	¥1,080	振込手数料、駐車料
積立金	¥0	¥0	
予備費	¥599,730	¥29,030	『都市構造と都市政策』購入
次年度繰越金	¥0	¥1,444,120	ゆうちょ¥614,000 三井住友¥158,112 現金¥672,008
計	¥1,969,730	¥2,537,558	

■近畿都市学会2016年（平成28年）度予算（2016年5月1日～2017年4月30日）

収入の部	予算額	前年度比	備考
会費	¥1,200,000	¥0	
寄付・その他	¥200	¥0	銀行金利を含む
積立金	¥0	¥0	
前年度繰越金	¥1,444,120	¥674,590	ゆうちょ¥614,000 三井住友¥158,112 現金¥672,008
計	¥2,644,320	¥674,590	
支出の部	予算額	前年度比	備考
日本都市学会費	¥540,000	¥0	
大会運営費	¥150,000	¥0	春季、秋季
会議費	¥10,000	¥0	理事会等
印刷費	¥700,000	¥300,000	都市研究第15号・第16号発行予定、会報各号
人件費	¥30,000	¥0	
業務委託費	¥200,000	¥200,000	会員管理システム費用
通信費	¥200,000	¥50,000	ホームページ費用を含む
運搬交通費	¥40,000	¥0	
消耗費	¥40,000	¥0	
雑費	¥10,000	¥0	
積立金	¥0	¥0	
予備費	¥724,320	¥124,590	
計	¥2,644,320	¥674,590	

**Ⅷ. 2016（平成28）年度総会方針をうけた第4回理事会等の結果**

【1】各種委員会MLの開設（2016年度総会・評議員会・理事会において、庶務委員長以外の委員長を置かないという方針が決定されましたので、今後、電子的手段等で合議制をとる必要があります、そのための環境を整備しました）。

【2】どなたでも委員ができるようにというご意見および上記合議制方針により、これまでの慣習をふまえたマニュアル化が必要から、各委員会のマニュアルを制定しました。参考に、とくに会員のみなさまに関係の深い集会マニュアルを以下におつけいたします。

<ご参考>集会マニュアル（2016年8月29日制定）

（1）以下の（集会原則）を守る。

【集会原則1】春季：大学、秋季：自治体。

【集会原則2】（会場）地域バランスを考慮する。京都、奈良、大阪、兵庫（神戸）、その他（和歌山、滋賀等）で、バランス良くローテーションする。

【集会原則3】（日時）関連の他学会の主要日程と重ならないようにする（地理、計画、経済経営、観光、GIS等）。

（2）（基本事項（会場・日時）の決定）は理事会で決めるものとする。

（3）（準備）基本事項（会場・日時）を決定してからは、「集会委員会」と「（会場）大会実行委員長」が中心となり準備する。準備状況は理事会で逐一報告いただく。

## ■ 近畿都市学会入会（日本都市学会同時入会）のおすすめ

21世紀は人類の大半が都市民となる空前の「都市の世紀」を迎えました。しかし、この急速な都市化の前には、環境、開発・保存、防災、人口、交通、福祉等の深刻な課題が逼迫しています。これらの課題の調査研究は、従来は土木・建築、地理、経済、社会、政治・法等の諸学会の研究課題として取り組まれてきましたが、それらの総合的研究は、未だ十分な状態にあるとはいえません。都市に関する理論や諸問題を研究し、健全な方向に都市の発展を導くような総合的・学際的「都市研究」が、各方面から要請されています。こうした要望にこたえ、第二次大戦後、日本都市学会が復活し、1957（昭和32）年にはその支部として近畿都市学会が設立されました。この間、学会では大学その他の研究者と市政担当者との緊密な協力のもとに、都市に関する総合的な調査研究の実をあげてきました。さまざまな都市問題の解決、都市政策の提言・実践が緊急に迫られている今日、更に多くの研究者、公共団体、NPO・NGO等の市民団体の皆様に御入会をいただき、実り豊かな都市研究を押し進めたいと考えています。この主旨に御賛同のうえ、近畿都市学会に御入会下さいますよう切に希望する次第です。

### 1. 代表的な年間活動

- (1) 学術雑誌『都市研究』を年1回発行。
- (2) 『近畿都市学会報』を年4回発行。
- (3) 学術雑誌『日本都市学会年報』を年1回発行。[日本都市学会事業]
- (4) 『日本都市学会ニュース』を年2回発行。[日本都市学会事業]
- (5) 近畿都市学会大会を年2回開催（春季大会は大学・学術研究機関等、秋季大会は地方自治体）。
- (6) 他に日本都市学会大会を年1回開催。[日本都市学会事業]
- (7) 日本都市学会賞（奥井賞、論文賞、まちづくり賞、共同賞）の授与。[日本都市学会事業]

### 2. 普通会员の特典

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、雑誌『日本都市学会年報』（年1巻）の購読、投稿の機会。
- (4) 上記、『日本都市学会ニュース』（年2号）の購読の機会。
- (5) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。
- (6) 上記、日本都市学会大会（年1回）への参加、発表の機会。
- (7) 上記、日本都市学会賞の授与対象となる機会。

※日本都市学会は地域学会（近畿都市学会他）から同時入会となります。普通会员は、年会費8,000円（日本都市学会会費4,000円＋近畿都市学会会費4,000円）です。自治体・法人・企業等は、特別会員（年会費10,000円）となります。

### 3. 学生会員の特典（学生は普通会员のほか学生会員を選択することもできます）

- (1) 上記、雑誌『都市研究』（年1巻）の購読、投稿（査読論文部門）の機会。
- (2) 上記、『近畿都市学会会報』（年4号）の購読の機会。
- (3) 上記、近畿都市学会大会（年2回）への参加、発表の機会。

※学生会員は、年会費4,000円（近畿都市学会会費のみ）です。

4. 申込連絡先 〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600大阪駅前第2ビル6階大阪市立大学大学院 創造都市研究科 小長谷一之研究室内 近畿都市学会事務局  
①ホームページ：<http://www.kintoshi.org> ②Eメール：[info@kintoshi.org](mailto:info@kintoshi.org)